

「石器時代を生きた人々」

～玉野周辺の新発見資料と整理成果展～

この度の企画展では、令和4年度より基礎的整理を進めている玉野市教育委員会所蔵資料のうち、整理を終えた石器資料と、玉野市周辺で新たに発見された資料も所蔵先の協力を得て展示しています。

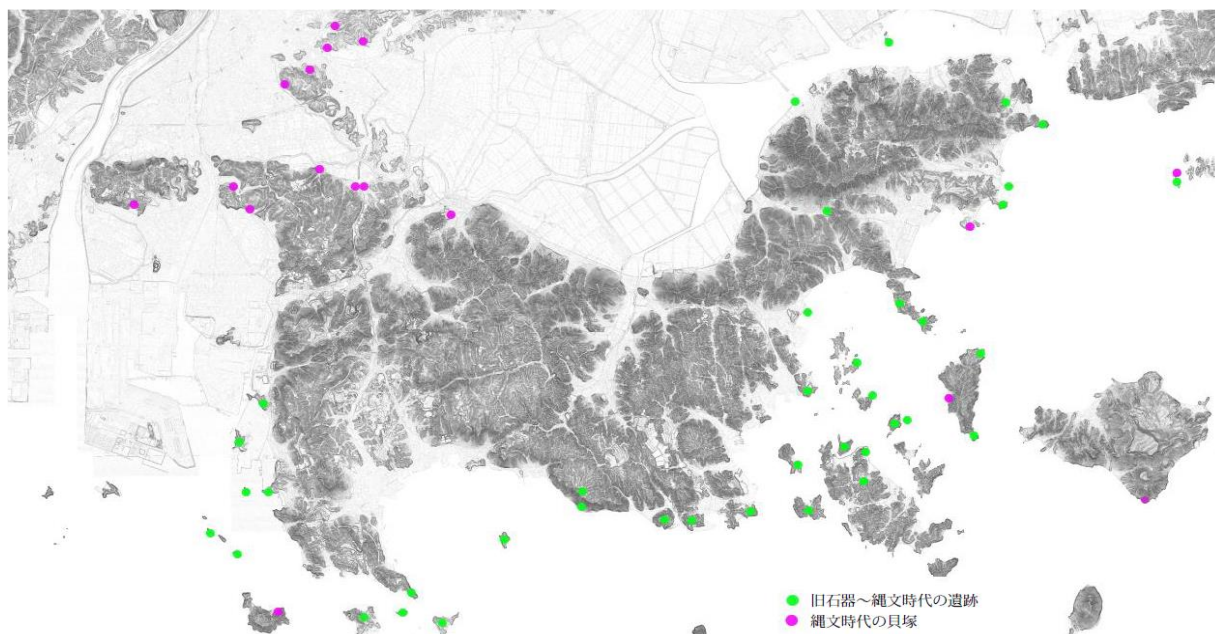
玉野市には、西日本でも早い段階に旧石器時代の遺跡として認識され、資料が公表された「宮田山遺跡」（玉野市渋川）をはじめ、宮山遺跡（玉野市日比）や出崎遺跡群（玉野市後閑）など多くの遺跡が知られており、様々な文献で紹介されています。また、周辺に目を向けると井島型ナイフの標識遺跡にもなり、発掘調査が行われた「井島鞍掛遺跡」（香川県香川郡直島町井島）や、荒神島遺跡群（香川県香川郡直島町荒神島）、少し東に離れると近年、西日本最古級の貝塚として新聞を賑わせた「犬島貝塚・地竹の子島第1遺跡」（岡山市東区犬島）などが知られています。

では、なぜ玉野市周辺にはこのような石器時代の遺跡が多いのでしょうか？ それは、縄文時代早期（約8500年前）以降、縄文海進により徐々に海水が侵入する以前、瀬戸内海は現在のように海ではなく、平原（一部、沼地や大きな川が入り込んでいた）で、現在の島は、小高い丘（山）でした。当時の人々は、平原を移動したり、水を求めて来た動物を狙っていたと考えられています。それらを示すように、現在の島には数多くの遺跡が残されており、石器を製作した痕跡や完成品、使用済みの石器まで発見されています。

当時は、狩りに出た人々が逆に動物に襲われることもあったでしょう。そのようなことから石器製作や動物たちの移動状況を観察するために、少しでも安全な小高い丘が利用されていたことが想像できます。

現在、島と言えば玉野市から目視できる距離にある直島や喜兵衛島などを思い浮かべる方が多いかと思いますが、実は玉野市（児島）も下図の通り、瀬戸内海成立後は島でした。

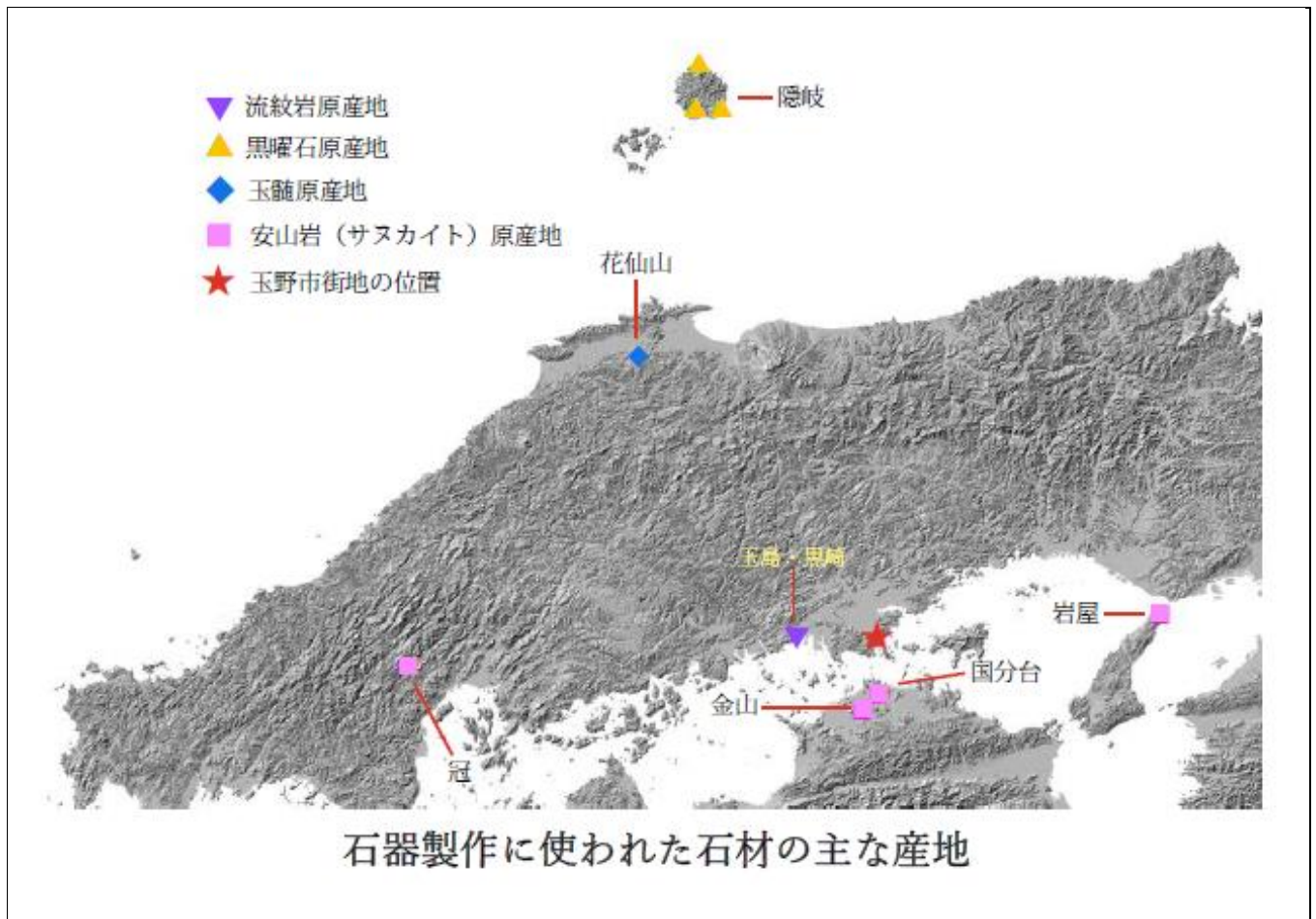
今日見学にお越しの皆様も、一度高い場所から瀬戸内海を眺めて広い草原の中を自由に行き来する鹿やナウマンゾウを想像してみてください。当時の人々の気持ちがわかるかもしれません(^ ^)/。



玉野市周辺の旧石器～縄文時代の主要な遺跡（縄文海進以降白い部分は海水が侵入していたと考えられる）

【石器づくりには、どんな材料が使われたの??】

玉野市周辺の遺跡で確認されている石器の原料（石材）は、主に香川県の国分台や、金山で産出する安山岩（サヌカイト）が多用され、一部の遺跡では少量ながら、黒曜石（島根県隠岐産）や、玉髄、チャート、頁岩、赤色珪質岩、石英、凝灰岩なども見つかっています。この様に、比較的玉野市周辺から近い香川県産の石材ばかりではなく、他県でしか産出しない石材も確認されていることから当時の人々の行動範囲は広く、また、様々な地域からの遊動があった事が伺えます。



サヌカイト（讃岐岩・安山岩）	瀬戸内地域（瀬戸内火山岩区）で1400～1100万年前に噴出した岩石の総称。1891年にドイツ人のE.ワインシェンクが命名し、和名は讃岐岩で産地の讃岐に由来。黒色で硬質、ガラス質。 ※石器づくりワークショップで使用した石材。
黒曜石（こくようせき）	硬質、微密で強いガラス光沢をもつ。ほぼ全体がガラスからなる黒色の流紋岩。ガラスは高温のマグマが結晶化の前段階で急冷されてできた非晶質物質。産出地により石の色が異なるが、玉野市内周辺では、島根県隠岐産の黒色のものが出土している。また、縄文時代になると、白っぽい色をした大分県姫島産の石材も使用され、少量見つかっている。
チャート	微粒の珪質堆積岩。微量成分により灰・黒・赤・褐・緑など色が異なる。産出地の分析が進んでないが、徳島県や、愛媛県などにも産地がある。近世以降には、火打石としても多く利用された。

玉髓（ぎよくすい）	微細な繊維状石英と、微量のオパール ^{けっしょうしゅうごうたい} の結晶集合体。瑪瑙や碧玉もその1種である。近くでは、島根県花仙山や周辺で産出する。玉野市や周辺ではあまり出土例がなく、石器としては直島町の井島遺跡 ^{いしまいせき} で、剥片としては玉野市宮田山遺跡で確認されている。当地域では、極めて希少な石器石材。
流紋岩（りゅうもんがん）	酸性（珪長質）の火山岩。近くでは、倉敷市玉島黒崎で産出したものが、各遺跡から出土しているが、石器として完成したものは少ない。黒崎のものはかなり硬質なため、加工が難しかったのかもしれない。
石英（水晶）	火成岩の一種で、石英は珪長質岩（流紋岩や花崗岩）に良く含まれる。瀬戸内沿岸では、マグマが地下深部で数10万から数100万年かけてゆっくり冷えて固まった花崗岩が広く露出しており、石英も多く産出する。岡山県では後期旧石器時代前半期（約36.000年前）から使用され玉野市周辺では縄文時代の石鏃が発見されている。

【石器にはどんな種類があって、どんな風に使われていたの??】

石器と一言で表現しても、使用方法や形も様々なものがあります。使用方法については、近年では顕微鏡などにより使用痕分析をしたり、石材の産地推定では蛍光 X 線分析や帯磁率を用いた手法が取り入れられ研究が進展しています。

今回は、様々な形態や使用方法が推定されている石器の中から、展示資料に関する石器について少し解説してみたいと思います。

石器の名称	よみがな	用途・説明	展示資料の年代
ナイフ形石器	ないふがたせっき	旧石器時代を代表する石器。剥片の一片を鋭利な刃として利用する。柄の先につけて槍として使用したり、肉などを切ったりするナイフとして使用されたと考えられている。	旧石器時代
角錐状石器	かくすいじょうせっき	三角錐や台形に加工した石器。柄の先につけて槍として使用したと考えられている。後期旧石器時代の始良丹沢火山灰（AT）降灰以後に出現する特徴的な石器で、九州・四国・本州に分布する。韓国のスヤンゲ遺跡でも出土している。	旧石器時代
尖頭器	せんとうき	直接打撃で製作したものと、押圧剥離で製作。主に槍先として使用された。形態から木葉形・柳葉形がある。	旧石器～縄文時代
搔器	そうき（エンドスクレイパー）	剥片の一端に急角度の刃をつけた石器。おもに獲物の肉などを搔きとるために使用されたと考えられている。	旧石器～縄文時代

削器	さっき (サイドスクレイパー)	剥片 ^{はくへん} の側縁 ^{そくえん} に刃 ^は をつけた石器 ^{せっき} 。ノコギリ状 ^{じょう} に付けられた刃もあり、物を切ったり、削ったりするための石器と考えられている。	旧石器～縄文時代
細石刃	さいせきじん	後期旧石器時代終末期 ^{こうききせきじだいしゅうまつき} に作られた、縦長 ^{たてなが} の小さな剥片 ^{はくへん} を使用した石器。骨などの側縁 ^{そくえん} に溝 ^ほ を彫り、そこに埋め込んで槍先 ^{やじり} として使っていたと考えられています。小さなカミソリのような鋭い剥片を作っている。	旧石器時代
細石核	さいせきかく	細石刃 ^{さいせきじん} を定型的に剥ぎ取 ^{はぎと} ったあとに残った石核 ^{のこせき} です。よく観察すると剥ぎ取ったあとがみえます。瀬戸内では主にガラス質安山岩 ^{あんざんがん} が使用されている。	旧石器時代
剥片と石核	はくへんとせきかく	剥片 ^{はくへん} は石器製作に必要な薄い板状 ^{せつざいざく} の石。石核は剥片を剥ぎ取った後に残った母岩 ^{ぼがん} (核)。剥片も石核も技法により定型的な形がある。	旧石器～縄文時代
敲石	たたきいし (ハンマーストーン)	石器を作るときに使われたハンマー。石器製作に使う石より柔らかいものが多い。自然石を使用し、使用した面に打撃痕 ^{だげきこん} が残っていることがある。	旧石器～縄文時代
石斧	せきふ	木材などを伐採 ^{はくさい} したり穴を掘 ^{あなほ} ったりするために使用したと考えられている。打製 ^{うちせい} と磨製 ^{モーせい} 、局部磨製 ^{きょくぶモーせい} がある。	旧石器～縄文時代
石錐 (ドリル)	せきすい	剥片石器 ^{はくへんせっき} の一種で台形 ^{たいけい} や菱形 ^{ひしけい} 、三角 ^{さんかく} の尖頭部 ^{せんとうぶ} を作り出したもの。孔 ^く をあけるドリルとして使用されたと考えられている。	旧石器～縄文時代
有茎尖頭器	ゆうけいせんとうき	縄文時代草創期 ^{じゅうもんじだいそうそうき} に作られた特徴的な石器。柄 ^{つか} の先に付けて投げ槍 ^{なげやり} として使用されたと考えられている。出土することは稀で、希少な石器。	縄文時代草創期
石鏃	せきぞく (やじり)	縄文時代草創期終末 ^{じゅうもんじだいしゅうまつ} から出現 ^{しゅつげん} する石器。弥生時代 ^{やよい} まで製作された。弓矢の先端 ^{せんぽん} に付けられ使用された。製作された時期により大きさや形態に変化がある。	縄文～弥生時代

【展示資料の中に珍品がある??】

この度の展示資料はどの資料も大変貴重な資料に変わりありませんが、展示遺物の中には西日本でも大変貴重な資料が含まれています。

(旧石器時代)

- ・出崎遺跡第1地点採集の「細石核」
- ・井島遺跡採集の「スキー状スポール」

(旧石器時代終末～縄文時代草創期)

- ・出崎遺跡採集の「有茎尖頭器」
- ・出崎遺跡群採集の「御子柴型石斧」
- ・荒神島遺跡群採集の「有茎尖頭器」
- ・井島遺跡採集の「有茎尖頭器」

(縄文時代早期)

・大浦台遺跡採集の「異形部分磨製石器」

出崎遺跡第1地点と井島遺跡の資料は、典型的な湧別技法によって製作され残されたものと評価されています。では、湧別技法とはどのような技法なのでしょうか？ また、西日本ではこの技法で作られた石器はどの程度見つかったのでしょうか？

【湧別技法】

湧別技法とは旧石器時代終末期に出現した細石刃剥離技術(さいせきじんはくりぎじゅつ)の一つで、北海道白滝村「白滝遺跡群第30・32地点」の出土資料をもとに、1961年に吉崎昌一により提唱された技法です。

分布は北海道北部に集中しており、札滑型(さっこつがた)と白滝型(しらたきがた)に分類され、主に黒曜石を用いて製作されます。札滑型は白滝型に比べやや大型で分布範囲も北海道から中国山地まで広範囲に及んでおり、石材も黒曜石や頁岩(けつがん)のほか、在地の石材を利用する傾向があります。

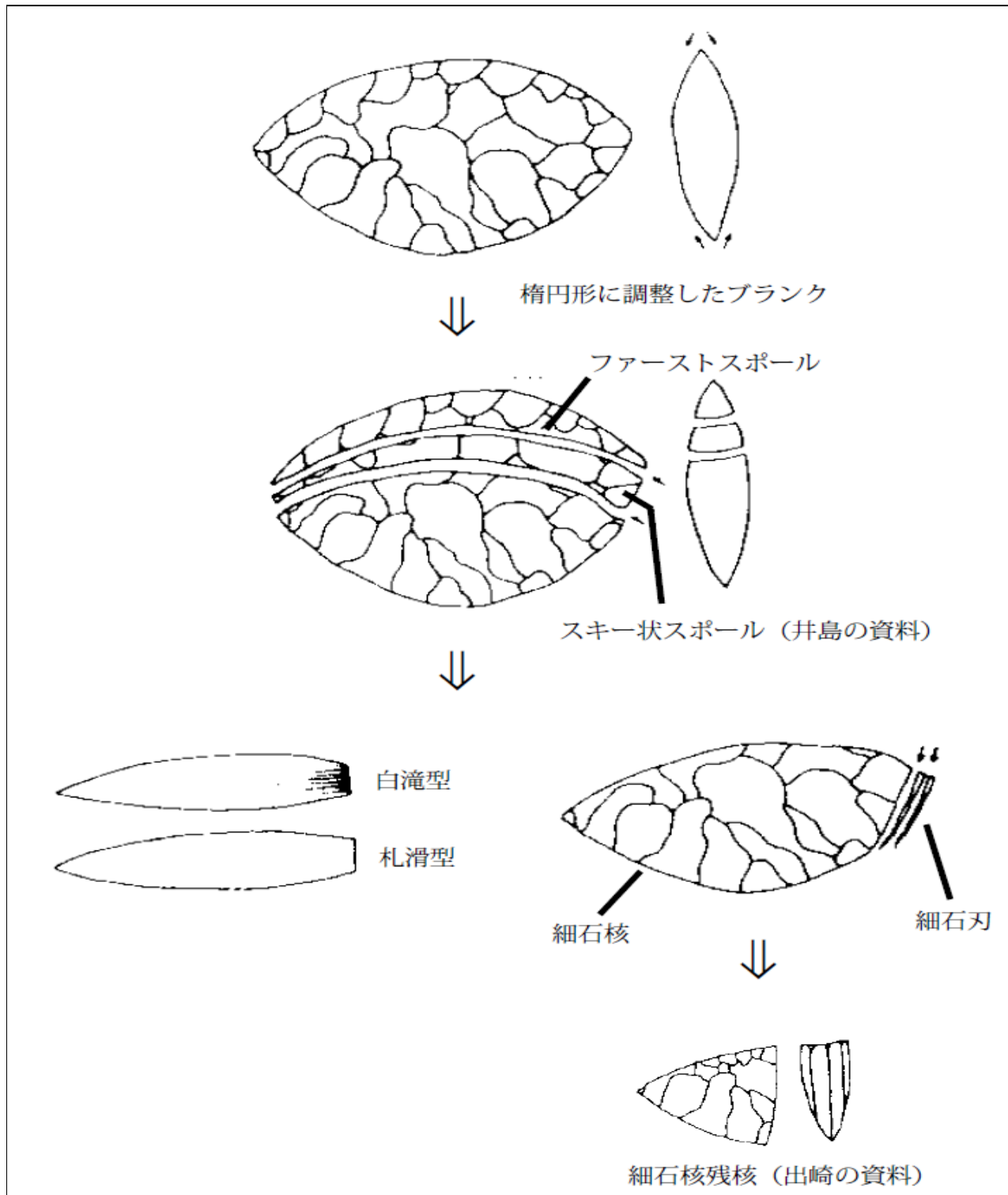
湧別技法で製作されたと考えられる石器は、岡山県では、恩原(おんばら)遺跡群(苫田郡鏡野町)でまとまった量が確認されているだけで、中・四国地方では限られた数しか発見されておらず、北方系植民集団(北から西日本に移動してきた人)の移動を推定するうえで大変貴重な資料になります。

展示資料は、出崎遺跡(玉野市)と井島遺跡(香川県香川郡直島町)で近年発見された貴重な資料で、公の展示では初公開となります。このうち、出崎遺跡の資料は、蛍光X線分析の結果、隠岐産の黒曜石が使われていることがわかっており、井島の資料も、島根県花仙山周辺の石材が使われている可能性が高く、当時の植民集団が中国山地側から備讃瀬戸域に移動したことが推定されます。

なお、羽佐島で出土した資料は、石材が在地のサヌカイトに置き換わっており、植民集団の到来が複数回にわたったことが推定されています。



中・四国周辺の湧別技法関連資料出土遺跡



湧別技法概念図 (旧石器考古学辞典 図16 改変引用)

【御子柴型石斧】

旧石器時代から縄文時代移行期に出現する特殊な石器で、長野県御子柴遺跡出土の石斧を標識資料とする。東北や関東などでは纏まった量が確認されることがあるが、西日本では出土例は少ない。岡山県内では倉敷市の「王子が岳南麓遺跡」、津山市の「領家遺跡」、真庭市の「東遺跡」・「野田原遺跡」、勝田郡勝央町の「大河内遺跡」、美作市の「尾崎遺跡」などで出土が知られるのみで、大変貴重な石器です。

形態としては、打製のものと同様に刃部が研磨された局部磨製（きょくぶませい）のものがあり、大きさも様々ではあるが、平均 20 cmを超えるものが目立つ。展示している出崎遺跡群採集の資料は、刃部に研磨が施された局部磨製石斧で、刃部の形態から典型的な御子柴石斧と考えられます。残念ながら折断していますが、全長は 20 cm前後の平均的なサイズと推定されます。

【有茎尖頭器^{ゆうけいせんとうき}】

北海道から九州まで広範囲に分布しますが、九州では出土例は少ない傾向にある。石器の表裏が平坦剥離によって調整され、尖鋭な先端と茎状（舌状）の基部を作出した石器で、使用方法としては投槍器を用いた槍の穂先説や、矢柄の先端に装着した石鏃説などがあるがはっきりしていません。

本州や四国では縄文時代草創期に出現し、隆起線紋土器や、爪型紋土器と共伴することがあるが、北海道ではこれらの土器と共に出土せず、旧石器時代終末期頃の石器と考えられています。岡山県南部や香川県の島嶼部では、これまで幾つかの資料が採集されたり、出土していますが当地域が花崗岩の風化土壌で形成されているため脆く、堆積を繰り返していることもあり今のところ土器との共伴は確認されていません。また、有茎尖頭器自体も希少な石器で、多く出土しているわけではありません。

今回の展示では、初公開の井島遺跡の資料や、玉野市の砂山や出崎遺跡群の資料、荒神島遺跡群で纏まって確認されている資料を展示しています。中でも荒神島遺跡群のチャート製のものは、当地域では発見されていない形態をしており、特に貴重な資料といえるでしょう。この形態は、新潟県小瀬ヶ沢洞窟出土の資料を標識とした小瀬が沢型有茎尖頭器に類似しており、石材も当地域で多用されるものではないことから、他地域からの搬入品である可能性も考えられます。

【異形部分磨製石器^{いけいぶぶんませいせつき}】

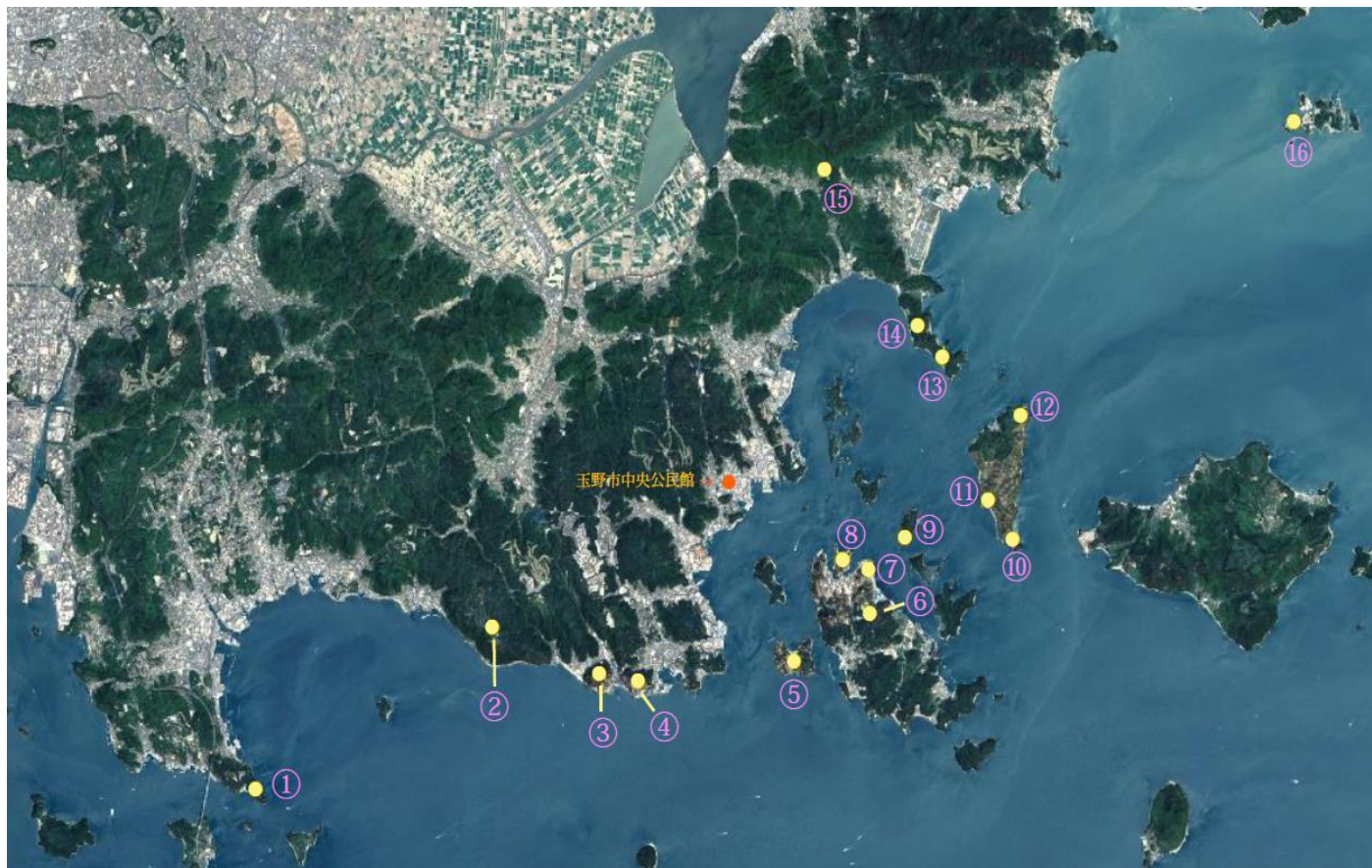
はっきりとした用途が判明していない石器で、チャートで作られることが多く形態的に石鏃に似ていますが、先端が丸く整えられ、部分的に研磨が施されています。縄文時代早期の遺跡から出土することが殆どで、玉野市周辺では、岡山市東区の「犬島貝塚」や、今回展示している香川県香川郡直島町「大浦台遺跡」などの縄文時代早期の貝塚で発見されています。他県では、一つの遺跡で 40 点を超える量が見つかったりしていますが、岡山県や周辺地域では運よく発見されたとしても 1 つの遺跡で 1 点ないし数点のみで、貴重な石器といえます。推定の域をでませんが、お祭りなどで使われ、実用品ではなかった可能性が高いと考えられています。

展示している大浦台遺跡の資料は、チャート製で小さいですが、よく見ると部分的に研磨が施されています。残念ながら基部周辺のみを残し、上半部を欠損しています。



異形部分磨製石器 神戸市天神町遺跡出土

（神戸市文化財課より資料提供）



展示資料出土遺跡位置図

①鷺羽山遺跡（倉敷市）②王子が岳遺跡群（倉敷市～玉野市）③宮田山遺跡（玉野市）④宮山遺跡（玉野市）⑤荒神島遺跡群（香川県香川郡直島町）⑥直島へキダム地点（香川県香川郡直島町）⑦重石ノ鼻遺跡（香川県香川郡直島町）⑧寺島遺跡（香川県香川郡直島町）⑨局島遺跡（香川県香川郡直島町）⑩井島遺跡（香川県香川郡直島町）⑪大浦台遺跡（香川県香川郡直島町）⑫戸尻鼻遺跡（玉野市）⑬出崎遺跡群（玉野市）⑭出崎遺跡群第1地点（玉野市）⑮砂山遺跡（玉野市）⑯犬島貝塚/地竹の子島第1地点（岡山市東区）

（文責：玉野市文化財保護委員 菅 紀浩）

「石器時代を生きた人々」～玉野周辺の新発見資料と整理成果展 出品遺物一覧

㊦.小野コレクション

	器種	遺跡名	遺跡所在地	石材	時期	所蔵
1	ナイフ形石器	鷺羽山遺跡	倉敷市児島大島	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
2	ナイフ形石器	鷺羽山遺跡	倉敷市児島大島	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
3	ナイフ形石器	鷺羽山遺跡	倉敷市児島大島	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
4	ナイフ形石器	寺島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
5	ナイフ形石器	局島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
6	ナイフ形石器	局島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
7	ナイフ形石器	王子が岳遺跡群	倉敷市児島～玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
8	ナイフ形石器	王子が岳遺跡群	倉敷市児島～玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
9	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
10	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
11	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
12	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
13	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
14	ナイフ形石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
15	ナイフ形石器	宮山遺跡	玉野市日比	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
16	ナイフ形石器	宮山遺跡	玉野市日比	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
17	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
18	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
19	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
20	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
21	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
22	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
23	ナイフ形石器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	黒曜石	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
24	ナイフ形石器	戸尻鼻遺跡	玉野市石島	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
25	ナイフ形石器	戸尻鼻遺跡	玉野市石島	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
26	ナイフ形石器	戸尻鼻遺跡	玉野市石島	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
27	ナイフ形石器	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
28	ナイフ形石器	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
29	ナイフ形石器	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
30	ナイフ形石器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
31	ナイフ形石器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
32	ナイフ形石器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
33	ナイフ形石器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
34	ナイフ形石器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
35	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
36	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
37	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会

38	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
39	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
40	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
41	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
42	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
43	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
44	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	頁岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
45	ナイフ形石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	頁岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
46	角錐状石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
47	角錐状石器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
48	角錐状石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
49	角錐状石器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
50	角錐状石器	王子が岳遺跡群	倉敷市児島～玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
51	細石核	寺島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
52	細石核	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
53	削片系細石核	出崎遺跡群第1地点	玉野市後閑	黒曜石	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
54	細石核	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
55	細石核	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
56	細石核	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
57	細石核	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
58	細石刃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
59	細石刃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
60	細石刃	出崎遺跡群第1地点	玉野市後閑	黒曜石	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
61	細石刃	地竹の子島第1地点	岡山市東区	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
62	細石刃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
63	細石刃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
64	細石刃	局島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
65	細石刃	局島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
66	細石刃	局島遺跡	香川県香川郡直島町	ハリ質安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
67	スキー状スポール	井島遺跡	香川県香川郡直島町	玉髓	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
68	敲石	井島遺跡	香川県香川郡直島町	緑色片岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
69	尖頭器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
70	尖頭器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会
71	尖頭器	出崎遺跡群第1地点	玉野市後閑	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
72	尖頭器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
73	尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
74	尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
75	尖頭器	宮田山遺跡	玉野市渋川	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
76	石核	寺島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器時代	玉野市教育委員会
77	石核	宮田山遺跡	玉野市渋川	玉髓	旧石器時代	㊦瀬戸内文化財研究会
78	剥片	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	黒曜石	旧石器時代	瀬戸内文化財研究会

79	削器	王子が岳遺跡群	倉敷市児島～玉野市渋川	安山岩	旧石器～縄文時代	玉野市教育委員会
80	削器	宮山遺跡	玉野市日比	安山岩	旧石器～縄文時代	玉野市教育委員会
81	削器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
82	削器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
83	削器	地竹の子島第1地点	岡山市東区	安山岩	旧石器～縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
84	削器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
85	削器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
86	削器	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
87	敲石	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	砂岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
88	磨製石斧	井島遺跡	香川県香川郡直島町	-	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
89	打製石斧	宮田山遺跡	玉野市渋川	頁岩	旧石器～縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
90	石錐	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
91	剥片	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	旧石器～縄文時代	瀬戸内文化財研究会
92	有茎尖頭器	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代草創期	瀬戸内文化財研究会
93	有茎尖頭器	砂山遺跡	玉野市八浜町波知	安山岩	縄文時代草創期	玉野市教育委員会
94	有茎尖頭器	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	縄文時代草創期	玉野市教育委員会
95	有茎尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	チャート	縄文時代草創期	玉野市教育委員会
96	有茎尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代草創期	玉野市教育委員会
97	有茎尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代草創期	玉野市教育委員会
98	有茎尖頭器	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代草創期	㊦瀬戸内文化財研究会
99	御子柴型石斧	出崎遺跡群	玉野市後閑	微粒砂岩	旧石器～縄文草創期	㊦瀬戸内文化財研究会
100	石匙	直島ヘキダム	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
101	石鏃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
102	石鏃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
103	石鏃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
104	石鏃	井島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
105	石鏃	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
106	石鏃	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
107	石鏃	出崎遺跡群	玉野市後閑	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
108	石鏃	戸尻鼻遺跡	玉野市石島	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
109	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
110	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
111	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
112	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
113	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
114	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
115	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
116	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
117	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
118	石鏃	荒神島遺跡群	香川県香川郡直島町	赤色珪質岩	縄文時代	㊦瀬戸内文化財研究会
119	石鏃	宮山遺跡	玉野市日比	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会

120	石鏃	宮山遺跡	玉野市日比	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
121	石鏃	王子が岳遺跡群	玉野市渋川	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
122	石鏃	王子が岳遺跡群	玉野市渋川	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
123	石鏃	王子が岳遺跡群	玉野市渋川	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
124	石鏃	王子が岳遺跡群	玉野市渋川	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
125	石鏃	寺島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
126	石鏃	寺島遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
127	石鏃	重石ノ鼻遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
128	石鏃	重石ノ鼻遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
129	石鏃	重石ノ鼻遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
130	石鏃	重石ノ鼻遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	玉野市教育委員会
131	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
132	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
133	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
134	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
135	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
136	石鏃	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	安山岩	縄文時代	瀬戸内文化財研究会
137	異形部分磨製石器	大浦台遺跡	香川県香川郡直島町	チャート	縄文時代早期	瀬戸内文化財研究会
138	石鏃	王子が岳遺跡群	玉野市渋川	安山岩	弥生時代	玉野市教育委員会
139	押型文土器	犬島貝塚	岡山市東区	-	縄文時代早期	㊦瀬戸内文化財研究会
140	ヤマトシジミ	犬島貝塚	岡山市東区	-	縄文時代早期	㊦瀬戸内文化財研究会
141	細石器レプリカ	-	-	白滝産黒曜石	-	東北大学 金彦中氏製作
142	尖頭器レプリカ	-	-	白滝産黒曜石	-	東北大学 金彦中氏製作
143	尖頭器レプリカ	-	-	硬質頁岩	-	東北大学 金彦中氏製作
144	製塩土器	沖須賀遺跡	玉野市後閑		古墳時代前期	玉野市教育委員会
145	製塩土器	沖須賀遺跡	玉野市後閑		古墳時代中期	玉野市教育委員会
146	製塩土器	井島鞍掛西浜遺跡	香川県香川郡直島町	-	古墳時代後期	瀬戸内文化財研究会
147	製塩土器	阿津走出遺跡	倉敷市児島阿津	-	古墳時代後期	瀬戸内文化財研究会
148	製塩土器	地藏山1号墳	玉野市玉	-	古墳時代後期	玉野市教育委員会